あきしま 市議会だより

No.290
令和6年(2024年)10月31日

おもな内容

● 決算審査(質疑、賛否の分かれたもの)‥ 1面～2面
● 討論 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2面～5面
● 補正予算審査(質疑) ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥3面
● 賛否の分かれたもの ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥4面
● 一般質問 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4面～8面
● 請願・陳情‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥5面
● 提出案件と結果 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6面～7面
● 会議の開催状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥7面
● これからの会議の予定‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥8面

編集:昭島市議会　議会運営委員会　発行:昭島市議会事務局　〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号　電話:042-544-4476　昭島市ホームページ https://www.city.akishima.lg.jp/

第3回定例会

令和5年度の各会計決算を認定

（一般会計決算歳出総額 526億7千50万円）

南文化公園整備工事請負契約

令和6年度一般会計補正予算など21議案を可決

令和6年第3回昭島市議会定例会は、9月2日から10月2日までの31日間を会期として開かれました。市長から提出された議案21件が可決及び認定され、一般質問は4日間にわたり19人の議員が行いました。

▲秋とのふれあい　（左上：おんたいむどれみ　右上：昭和記念公園
左下：アキシマエンシス　右下：パース・モダン・スクールのみなさん）

決算審査特別委員会

◇開催日　9月24日～26日
◇委員長　渡辺　純也
◇副委員長　安保　満
◇委員数　19人（正副議長、監査委員を除く）
◇審査結果　各会計とも認定

副委員長　安保 満

委員長　渡辺純也

各会派の主な質疑（質疑順に掲載）

日本共産党昭島市議団

質問　市政運営において市民の声を聞くことが重要と考えるが、具体的にどのような取り組みをしたのか。

答弁　市長への手紙や多様な市民が集う場などで様々な意見を聞いている。

質問　障害者差別解消法について、全職員へ周知徹底をしてほしい。考えは。

答弁　既に研修等行っているが、今後も機会を捉え、理解・啓発に努めていく。

質問　シルバー人材センターのインボイス対応について、市はどのように把握しているのか。

答弁　会員の負担がないよう、事務費率の段階的な引き上げにより留保金を確保し、消費税の支払いを行っていると捉えている。

質問　GLP昭島プロジェクトについて、①計画地が市の計画で「水と緑を守り育てるゾーン」と位置付けられながら、準工業地域であり、生物多様性等を保全する担保がない。仕組みや措置が必要では。②市長がGLP社長と対談をしたが、回答していない項目もある。具体的な期限を決めて回答を求めるべき。

答弁　①水と緑を保全・確保するために地権者と協議し、地区計画を策定している。②懸念事項について、一つ一つ分析し解決していくとの回答を得ている。

質問　マイナ保険証がなくても資格確認書で受診できることを周知徹底すべき。

答弁　市ホームページ等も活用し周知を図っていく。

質問　介護人材の確保に向け、行政主導で初任者研修を行う等、具体的にどのような対応を検討しているか。

答弁　市が実施主体となることは困難であるが、初任者研修受講料助成等の支援策を検討していきたい。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

質問　物価高騰対策のため、水道料金・下水道使用料減免事業を実施したが、市民からの反響は。

答弁　大変好評だったと受け止めている。今後も市長会を通じ、国や都へ物価高騰対策を求めていく。

質問　ひとり親にとって養育費の確保は大変重要である。支援策は。

答弁　公正証書による債務名義の作成や裁判所の調停申し立てに係る支援などの対応を検討している。

質問　リユース食器の貸し出しについて、お祭りなどで自治会等が利用しているが、市内の民間事業者などにも貸し出す考えは。

答弁　イベント等を行う団体に貸し出しており、使用用途が市の目的と合致する場合は、対応可能である。

質問　公園の遊具について、優先順位をつけて修繕しているとのことだが、市民から早急に対応してほしいとの声もある。優先順位を決める基準は。

答弁　年1回実施している法定点検の結果に基づき、予算も考慮しながら修繕・補修を行っている。

質問　ブロック塀の安全対策促進事業について、小学校の通学路が対象とのことだが、他の道路にも拡大していく考えは。

答弁　まずは優先的に通学路を対象としており、他の道路への拡大については、通学路の補助状況を勘案する中で判断していく。

質問　他市では住民との一体感を醸成するため、プロスポーツチームと連携しているが、本市の取り組みは。

答弁　立川ダイスと連携したバスケットボール教室や栗田工業との協定に基づくラグビー教室などを実施している。

無会派

質問　省エネ教育プログラムについて、令和5年度は小学校3校で実施しているが、成果と課題は。

答弁　児童を通じて各家庭に省エネ行動が普及している。実施校をいかに増やしていくかが課題である。

質問　学校運営協議会について、今後どのような計画で設置していくのか。

答弁　5年度に3校設置し、6年度に8校、7年度に8校と全校設置に向け取り組みを進めている。

質問　Aバスについて、利用促進のため、バスの利用案内を近隣商店等へ配布しては。

答弁　協力してもらえる店舗などがあれば、設置していく。

質問　高齢者への食事サービスについて、利用者数と配食数が減少しているにもかかわらず、事業費が増えた要因は。

答弁　1食あたりの料金を700円から850円に変更したため、委託料が増額となった。

2面上段へ続く